



今や映画にも取り上げられるなど、ちょっとしたブームになっているフラダンス。今回紹介するのは「ガハハ」と豪快に笑う、多古町出身の長倉直美さん指導のもと、自主練習まで熱心に行うラキ・フラダンススタジオの皆さんです。

月2回の活動は、初級と中級クラスの時間を分けて、それぞれのレベルに合わせたレッスンを行っています。目にも鮮やかな衣裳で、挨拶代わりに踊ってくれたのは「キラウエア」という古典的形式のフラダンス。イプヘケと呼ばれるひょうたんのような楽器を叩きながら唄う長倉さんの歌に合わせて、皆さんが踊り始めると、よく見かけるフラダンスとは全く異なり、ピーンと張りつめた雰囲気が漂いました。

そもそもフラダンスとは、神話や伝説、ハワイの文化と歴史の要素を含み、神に捧げる神聖な踊りで、「カヒコ」と呼ばれる古典的形式と、「アウアナ」と呼ばれる現代的形式があります。カヒコの振り付けはとても力強く、打楽器でリズムを取り、自然や神に対する礼拝を込めた詩を唱えながら踊るのに対し、アウアナは

サークル CIRCLE ZUKAN 鑑

第24回

フラダンスサークル ラキ(幸運)・フラダンススタジオ

- ①活動歴 5年
- ②年齢層 30歳代~の女性
- ③活動場所 多古町コミュニティプラザ
- ④活動時間 毎月第1・3土曜日、
18:00~19:30-19:30~21:30
- ⑤代表者 江波戸浩美(えばとひろみ)
- ⑥連絡先 ☎(76)2952

優雅で自由に、ウクレレなどの演奏と、自然への感謝や男女の愛を詠み込んだ歌に合わせて踊ります。

皆さんに配られる長倉さんお手製のシートに書かれているのは、体の動きのほかに歌の意味も…。歌の内容をきちんと理解してから踊りに入っていくのです。レッスンでは、ステップや姿勢、手先や

目線の細やかな動きを徹底的に叩き込み、1つの楽曲にじっくり5~6ヶ月を費やします。手の高さや下ろすタイミングをぴったり合わせ、みんなで心をひとつに踊ることで生まれる絆—。古典フラに憧れ、真摯に取り組んできた強い絆が、踊りの完成度をアップさせ、あの神聖で荘厳な雰囲気を醸し出したのです。

「大切にしているのは“akahai”=優しく“lokahi”=和になり“oluolu”=心ゆるやかに“ha'aha'a”=譲り合い“ahonui”=頑張り抜く、この頭文字をとった aloha の精神です」と話す長倉さん。7月16日に成田国際文化会館で予定されているコンサートに向け、レッスンにもますます力が入ります。フラダンスの世界に触れてみたい方、会場へ足を運んでみませんか？



編集後記

★「〇〇晴れ」と「〇〇雨」。正反対の天気を表す言葉の上の部分、〇〇にある語句を入れると、これからの季節、たびたび耳にする言葉になります。さて、〇〇に入るのは…★答えは、「そ」で「五月」です。5月といえば新緑が目まぶしい季節で、行楽にも最適な気持ちのいい天気が続くイメージ。ですから「五月晴れ」は、5月に続く快晴のことだとばかり思っていました。ところが広辞苑を引いてみると「五月晴れ」が本来の意味。「5月の空の晴れわたること」という意味も確かにあるようですが…。また「五月雨」は、陰暦5月頃に降る長雨。梅雨のこと。お恥ずかしい話ですが、必ずしも「五月」ではありません。不惑目前の歳になって知りました★この春、入学・入社した皆さんへ。「五月病」を防ぐためにも、スポーツや読書など、自分に合ったストレス解消法を見つけましょう。また、地声の大きな私は、周囲から「五月蠅い」といわれないよう気をつけなくっちゃ!!

★ある晩残業を終えて帰宅すると、食卓の上は何やら気になるものを発見!! それは、筒ご飯(たきい)の嫁に義母が作っておいてくれたもの。数日前から暖かい日が続く、そろそろじゃやないかと思っていたのよ、筒ちゃん★シーズンが到来すると土日はどうも落ち着かず、誰かに先を越されるのではと心配になります。我が家の山へと通じる道は、軽トラックがやつの細い道で、生い茂る枝などが行く手をふさぎます。ジャングルさながらの道を進む時、決まって頭の中を流れてくるのはチャチャチャチャーン、チャチャチャーン—の映画インディ・ジョーンズのテーマソングはやる気持ちに拍車がかかるっ★いざ出陣!! とばかりに足で落ち葉をかきわけ進むと、ちよん顔を出している筒ちゃんに会えるのです。ただ残念なのは、時々捨てられている筒の皮。自然の恵みの筒だから、おすわけは涙を吞んで許すけど、悔しさが増すので筒ちゃんは丸ごと持って帰ってね。